



2024~2025

国際ロータリー第 2730 地区

週報 佐土原ロータリークラブ

The Magic
OF Rotary

RI テーマ
ロータリーのマジック

会長：小牧 義隆 副会長：福島 城史 RI2730 地区ガバナー 笹山 義弘
 幹事：藤浪 淳志 会計：田辺 浩嗣 中部グループガバナー補佐 戸高 勝利
 事務局：押川 有里 会報委員：杉尾 一樹 RI 会長テーマ ロータリーのマジック
 例会会場：コンパニオンセンター 2730 地区スローガン 「ロータリーのマジックで
 ロータリー楽しもう」
 例会場住所：宮崎市大字塩路浜山 例会場 TEL :0985-21-1133・FAX 0985-21-1144
 事務局住所：宮崎市神宮東 2 丁目 6-26 TEL0985-72-7600 FAX0985-72-7600

第 1681 回例会 令和 6 年 8 月 7 日(水)

<今日のプログラム>

- 1.点 鐘 会長 小牧 義隆 君
- 2.ロータリーソング ♪ 奉仕の理想 ♪
- 3.4つのテスト 本日の担当者より
- 4.会長の時間 会長 小牧 義隆 君
- 5.幹事報告 幹事 藤浪敦志 君
- 6.出席報告 出席委員より～
- 7.委員会報告
- 8.セレモニー 委員長
9. 会員卓話 郡司武俊君
- 11.次週例会案内 SAA より
- 12.点 鐘 会長 小牧義隆 君

第 1680 回例会記録 令和 6 年 7 月 31 日 (水)

■会長の時間 会長 小牧 義隆 君
 本日は夜間例会です。早くも一月過ぎました、先日のガバナー公式訪問にはお疲れさまでした、一安心ですが、残り頑張っていきたいと思います。今日は楽しく親睦を図ってください。

■幹事報告 幹事 藤浪敦志君
 本日の幹事報告は特にありません。

■親睦委員長 横山誠樹委員長の乾杯の音頭で夜間例会が始まりました。



皆さん楽しく各テーブルを回りながら、ロータリー談議に話が盛り上がっていました。
 総勢 18 名の参加でした。

『職業奉仕の基本理念』R I 研修セッション

パネリスト 深川純一

1. ロータリーの奉仕を運動体として集約して、これを一言で言えば、**ロータリーは倫理運動**である。では、**倫理運動とはそもそも何ぞや**。

2. ロータリークラブは本質的には一体どのような団体か。
『ロータリーとは、人類文化史が20世紀の時代に刻印を打った職業人の最も優れた倫理運動である』

3. ロータリーが倫理運動であるということが一体どこに書いてあるのか。

標準ロータリークラブ定款第4条『ロータリーの綱領』

4. ロータリーは倫理運動であるが故に昔から色々な理念を提唱し様々な原理を開発して来た。故にロータリーは、20世紀初頭以来、先輩たちが素晴らしい知恵を残してくれており、将にこれは先輩達の尊い知恵の結晶である。

5. **職業奉仕**という言葉はロータリーの専門用語

この言葉は奇妙奇天烈な言葉である

なぜなら職業というものは、私たちが生きていく為の所得を得るための手段であるから、自分のためのものである。

一方、奉仕というものは世のため人のためのもの、即ち自分以外の人のためのものである。

このようにエネルギーの方向が全く正反対の二つの言葉を一つにドッキングさせて**職業奉仕**と謂ったものだから判りにくいのも無理はない。

一体、自分の為のものである職業が、人のためのものである奉仕のテーマになり得るのか？職業を営むこと、即ち金を儲けることが、何故世のため人のための奉仕となるのか？この一点が判らないと**職業奉仕は永久に判らないことになる**。

6. 先ず、『奉仕』についての最も素朴な考え方から検討すると、職業は、所得 獲得の手段、**金儲けの手段**であるから、あくまでも自分のためのもの。そこには世のため、人のためという他人のための考え方は一切入る余地はない。

従って、**職業は奉仕にならない**。

職業と奉仕は、それぞれ別の世界に存在すると考えられる。

従って、奉仕をするには、職業以外の方法によらざるを得ない。

謂わば、**弱者保護**を持って奉仕と考える。職業をもって奉仕とはか考えられない。

これが奉仕についての最も素朴な考え方である。

実は、**」ロータリークラブ以外のアメリカ系奉仕クラブは、ライオンズクラブ、シビタン、コスモポリタン、等全てこの考え方である**。

7. ロータリーは、職業を営む心も奉仕の心も共に同じ一つの心と考える。故に、この考え方では必然的に倫理

性が問題となる。倫理の問題を考える場合、人間の行動パターンを考えると『打算の世界』と『愛情の世界』に大別できる。

『打算の世界』とは、常に何らかの価値を求めて、打算によって行動する分野の事

打算的 損得を考えて行っている

『愛情の世界』とは、貨幣価値等では図ることのできないほど価値のある分野の事

夫婦の関係のように 私の物は貴方のものよ 貴方のものは私の物よという考え方の支配する世界である。

ここには一切の打算は無いが、限りなき愛情がある。

8. 愛情の世界にのみ生きてきた職業として、例えば、宗教家があるが、宗教家に限らず、宗教から派生した法学、医学、哲学、教育学などがある。

ロータリーは、これらの分野の職業を一括して**専門職務 profession** と称し、

利潤追求を第一主義とする事業 business と区別して、これを定款第4条

「綱領」の第2に規定している。

従って、宗教家をはじめ大学教授、弁護士、医師、等は、神様から与えられた客観原理を持って人々を救済することを第一義とする職業と考えられている。

職業奉仕は、この愛情の世界の考え方を持って打算の世界をコントロールしていこうという考え方、即ち愛情をもって職業をコントロールしていこうという考え方であり、これが職業奉仕の根本原理である。

9. 愛情の世界は、人間関係が精算されないで、常に人と人とが或ものによって因縁づけられている世界、色々な出会いが何時までも尊重されていく世界、そういう関係の中から尊敬と信頼が産まれてくる。

実業家の場合には、更に信用が生まれる。尊敬と信頼そして信用があるからこそ実業家は、長期的に安定した経営をすることができる。

個々の取引が常に、貸し借りなしに精算されていく打算の世界からは、尊敬も信頼も信用も生まれない。

世の中の大成した実業家は、必ず愛情の世界の原理をもって自分の企業をマネジメントしているのである。

要するに、ロータリーは、**倫理運動の立場から、愛情の世界に生きる心、即ち世のため人のための心をもって職業を営んでいると、その結果として、信用という保護膜に包まれて、長期的に安定した利潤を着々と獲得する強靱な体質の企業を作り上げることが出来る**と説くのであり、その原理の総体を**職業奉仕**と読んでいるのである。

※ 地区大会の資料として配布された中から抜粋しました。広報委員会 藤堂孝一